

平成 27 年 10 月

国際海事機関（IMO）における係船オペレーション安全対策の動向について

海事局安全政策課船舶安全基準室

● MSC95 の審議

2015 年 6 月に IMO（国際海事機関）第 95 回海上安全委員会（MSC95）が開催され、係船設備の配置改善の検討について、以下のとおり審議が行われた。

1. 各国で係船索破断による事故が多発していることを受け、デンマーク等から船上係船設備の配置について、事故発生の危険性を評価し、最適な設計を要求するための SOLAS 条約附属書の改正に係る新規作業計画案が提案された。一方、本提案に対し、我が国から、港湾側でも死傷事故が発生しており、その原因は係船索の保守不良による係船索の破断であることから、係船索の保守に関するガイドラインも併せて策定すべき旨提案した。
2. 審議の結果、「係船設備の配置の最適な設計を要求するための SOLAS 条約附属書の改正」及び「係船索の保守に関するガイドラインの策定」を併せて、2017 年を目標に船舶設計・建造小委員会（SDC）で検討することになった。

以上